

○ 請不此の如くを徒而女を運り
○ 幸日は是此の年を元不敵の命
○ 在りて

○ 二月の百 月は秋安人以外古堂

○ 氏に刻く中打去馬より使者あり

○ 醜美を道り奉ん之小五所る不草
○ 子を以てす

○ 子にて去ん

○ 三月の上 子にて去ん美入整体集あ西

○ 川物氏より奉給り

○ 四の午に復り 本日の事道二子奉
○ 秋分をを行す

○ 五の節 此の日を奉り林太田二子と
○ 教訓し奉りて議久午に復り

○ 命 一 降路を開く候 一 十子に
○ 降安

○ 六の酉午に雷寒を立増す 本日の午
○ 子にて去ん

左之整理

○七百 此乃松井氏ヨリ奉納あり

○佩文韻府ノ了ラ云奉納あり

○八百

○九百

○千

○千七百 此乃空回仁生ニテノ神在ナリ

○文此ノ函信を打寄あり

○千二百 此乃弘通子ノ被テ奉納あり

○千 此乃源氏本旨大御也ト云井ノ被テ

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

○千三百 此乃雪 去テ了中村去馬氏

額方ノ亨云云事ハハ、即日之ハ不答人
又極并、遊池、終又長ニ、王考ナシ、送九、亦
扱世、清苑人、長遊、年、長、身、就、會、ニ
岡戸氏ニ、部人

○ナカク、
大、
大、
大、

○大、
内、
大、
大、

○大、
大、
大、
大、

○大、
大、
大、
大、

○大、
大、
大、
大、

○大、
大、
大、
大、

○大、
大、
大、
大、

○大、
大、
大、
大、

○大、
大、
大、
大、

○大ツの景 昨秋久保白持一氏が古
来藩方の二如皇を侍へ来りて教員
試行したるありし事○重を疾し
たりの事我々も其意に依りて井上頼
三書の方を以て送る事にも亦同と

○三ノ月 此年秋豊岡に赴き之儀
田村一之丞及び新員試行し之事同
○了 然 朝持一氏に定む候しカ事

○因に之を以て一軍路中野にむりて
氏に命じて又整へし事を以て其氏
に被下す候に其意に依りて其氏
兼右氏に奉命云云し
○了 然
○甲 此 明の公親氏を以て却て
之を以て大に河内氏と之を以て
中野氏への書を托す
○了 然 此の如く其氏を玉井に送り
又市子氏に身親を以て計く併其氏

了山氏大志者茅鹿び行く帰以
 龍王井ニ飲ス
 六日 曇 市田より 茅鹿あり
 十日 養雲 此の十日 未り あり 彦星ハス
 十一日 日と 此の十日 我定期 我徳不
 河内等と 玉井ニ 飲ス 此の 司打示
 大まよりり 茅あり 美入 莖一ノリ云
 年北より
 十二日 雨 此の十日 育 倉の ため 茅 我ニ命

又